

第100期 中間事業のご報告

平成19年4月1日～平成19年9月30日



決算ハイライト

連結中間決算

(単位：百万円)

| 経営成績 | 第99期中間 | 第100期中間 |
|----------------|--------|---------|
| | (前中間期) | (当中間期) |
| 売上高 | 22,136 | 24,768 |
| 営業利益 | 1,096 | 1,697 |
| 経常利益 | 1,327 | 1,991 |
| 中間純利益 | 1,512 | 2,009 |
| 1株当たり中間純利益 (円) | 10.94 | 14.54 |
| 財政状態 | 第99期 | 第100期中間 |
| | (前期末) | (当中間期末) |
| 純資産額 | 31,942 | 32,665 |
| 総資産額 | 69,002 | 66,804 |

単体中間決算

(単位：百万円)

| 経営成績 | 第99期中間 | 第100期中間 |
|----------------|--------|---------|
| | (前中間期) | (当中間期) |
| 売上高 | 11,791 | 13,726 |
| 営業利益 | 980 | 1,578 |
| 経常利益 | 1,239 | 1,888 |
| 中間純利益 | 789 | 1,921 |
| 1株当たり中間純利益 (円) | 5.70 | 13.89 |
| 財政状態 | 第99期 | 第100期中間 |
| | (前期末) | (当中間期末) |
| 純資産額 | 29,992 | 30,701 |
| 総資産額 | 52,869 | 52,872 |

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第100期中間期の「中間事業のご報告」をお届けするにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

当期のトーヨーカネツ・グループの業績は、機械・プラント事業の好調により、前年同期比、大幅な増収増益を達成致しました。

なお、当期の配当金につきましては、前年度に引続き中間配当を行わず期末配当のみとし、その金額は、株主の皆様への利益還元の見点より、1株につき1円増配し、1株につき4円を予定致しております。また、長期的な視点での株主還元策として、自己株式の取得にも弾力的に対応する考えであり、本年11月～来年3月に上限を700万株、15億円として実施する予定であります。

これら業績を踏まえ、当社グループは、グループ連結経営の視点に立ち、「健全で強い、そしてダイナミックな企業グループの創生」に向け、「当面の経営課題」に適切に対処するとともに、「主要事業の基本方針」に基づき事業を強力に推進することにより、グループ企業価値の一層の向上を図ってまいります。

1. 当面の経営課題

- ① 高収益の体質化と収益力の向上
- ② 人材の活性化及び人的資源の活用
- ③ コーポレート・ガバナンスとコンプライアンス経営の確立
- ④ グループ経営の強化

連結財務ハイライト

売上高

(単位：百万円)



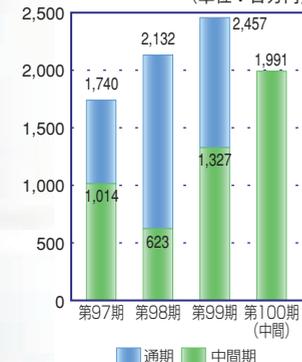
営業利益

(単位：百万円)



経常利益

(単位：百万円)



中間(当期)純利益

(単位：百万円)



2. 主要事業の基本方針

・物流システム事業

市場規模の拡大に多くを望まず、価格競争が厳しさを増す事業環境下、流通業、3PL業、空港等向けに経営資源を集中し、顧客のニーズに応えた、物流システム・機器とITの融合による物流ソリューションの提供に注力することで差別化戦略を図ります。また生産性の向上やコストの合理化等への継続的な取組みにより高収益の体質化に努め、業界での揺るぎないポジションを目指します。

このような戦略実施の一環として、SCM（サプライチェーンマネジメント）システムの要であるWMS（物流管理用情報システム）を中心としたIT技術と、ピッキング、ソーター、コンベヤ等のハード技術との融合により、「ソリューションプロバイダー」としての実力をさらに高めるとともに、今後の活用が期待される「UHF 帯 RFID タグ」など先端技術への取組みを強化してまいります。

・機械・プラント事業

世界的なエネルギー需要の増加の機会をとらえ、国内外での豊富な実績に裏付けられた、タンク専門メーカーとしての「ブランド力」、「技術力」、「信頼性」並びに「国際的な競争力」のもと、LPG、LNGタンク等の高付加価値製品を主力製品として、海外工場（インドネシア国）の設備増強や更なる合理化をはじめ、EPC（エンジニアリング・資材調達・工事）全般にわたり強化を図ってまいります。また、安定的な収益事業として期待できるメンテナンス分野については、専

門メーカーの強みを活かし、構造安全診断から改修までの一貫したサービスを提供することにより、引続き増強を図ってまいります。

・建築事業

工事施工業者のネットワーク化や技術・生産性の向上等施工管理体制の充実によるコスト低減に努めるとともに、不採算案件の排除や新規分野の育成により収益基盤の一層の強化を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年12月

取締役社長 清田 重昭



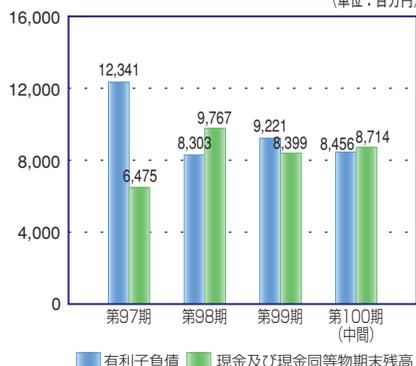
純資産・総資産

(単位: 百万円)



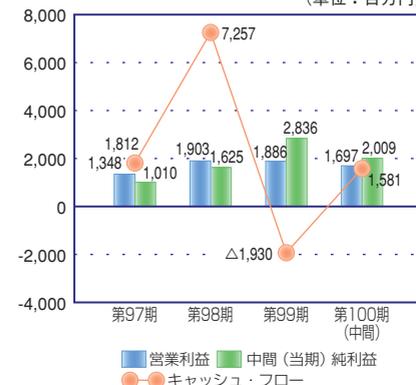
有利負債と現金及び現金同等物期末残高推移

(単位: 百万円)



損益とフリーキャッシュ・フロー

(単位: 百万円)



連結財務諸表（要約）

連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

| | 第99期 平成19年3月31日現在 | 第100期中間 平成19年9月30日現在 |
|---------------|----------------------|-------------------------|
| （資産の部） | | |
| 流動資産 | 30,226 | 30,179 |
| 現金及び預金 | 7,138 | 7,950 |
| 受取手形及び売掛金 | 8,615 | 8,681 |
| 有価証券 | 1,499 | 998 |
| たな卸資産 | 10,153 | 10,600 |
| 短期貸付金 | 112 | 78 |
| 繰延税金資産 | 976 | 1,124 |
| その他 | 1,969 | 975 |
| 貸倒引当金 | △ 238 | △ 229 |
| 固定資産 | 38,775 | 36,624 |
| 有形固定資産 | 16,955 | 16,635 |
| 無形固定資産 | 321 | 265 |
| 投資その他の資産 | 21,497 | 19,723 |
| 投資有価証券 | 17,785 | 16,658 |
| 長期貸付金 | 1,147 | 1,119 |
| その他 | 3,115 | 2,413 |
| 貸倒引当金 | △ 550 | △ 467 |
| 資産合計 | 69,002 | 66,804 |

（単位：百万円）

| | 第99期 平成19年3月31日現在 | 第100期中間 平成19年9月30日現在 |
|-----------------|----------------------|-------------------------|
| （負債の部） | | |
| 流動負債 | 22,865 | 20,808 |
| 支払手形及び買掛金 | 2,285 | 2,788 |
| 短期借入金 | 4,860 | 4,523 |
| その他 | 15,719 | 13,497 |
| 固定負債 | 14,194 | 13,330 |
| 長期借入金 | 4,360 | 3,933 |
| 繰延税金負債 | 7,330 | 6,772 |
| 退職給付引当金 | 2,352 | 2,449 |
| その他 | 151 | 175 |
| 負債合計 | 37,060 | 34,138 |
| （純資産の部） | | |
| 株主資本 | 24,651 | 26,231 |
| 資本金 | 18,580 | 18,580 |
| 資本剰余金 | 1,104 | 1,104 |
| 利益剰余金 | 5,049 | 6,643 |
| 自己株式 | △ 82 | △ 96 |
| 評価・換算差額等 | 7,282 | 6,423 |
| その他有価証券評価差額金 | 7,556 | 6,736 |
| 繰延ヘッジ損益 | △ 16 | △ 7 |
| 土地再評価差額金 | 391 | 391 |
| 為替換算調整勘定 | △ 649 | △ 696 |
| 少数株主持分 | 8 | 10 |
| 純資産合計 | 31,942 | 32,665 |
| 負債純資産合計 | 69,002 | 66,804 |

連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

| | 第99期中間 平成18年4月1日 ～平成18年9月30日 | 第100期中間 平成19年4月1日 ～平成19年9月30日 |
|--------------|------------------------------------|-------------------------------------|
| 売上高 | 22,136 | 24,768 |
| 売上総利益 | 2,845 | 3,563 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,749 | 1,865 |
| 営業利益 | 1,096 | 1,697 |
| 営業外収益 | 388 | 502 |
| 営業外費用 | 157 | 208 |
| 経常利益 | 1,327 | 1,991 |
| 特別利益 | 292 | 54 |
| 特別損失 | 23 | 4 |
| 税金等調整前中間純利益 | 1,595 | 2,040 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 92 | 190 |
| 法人税等調整額 | △ 7 | △ 161 |
| 少数株主利益 | △ 1 | 2 |
| 中間純利益 | 1,512 | 2,009 |

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

| | 第99期中間 平成18年4月1日 ～平成18年9月30日 | 第100期中間 平成19年4月1日 ～平成19年9月30日 |
|---|------------------------------------|-------------------------------------|
| I. 営業活動によるキャッシュ・フロー | △ 1,218 | 2,220 |
| II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (フリーキャッシュ・フロー I+II) | △ 1,826 △ 3,045 | △ 639 1,581 |
| III. 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,624 | △ 1,274 |
| IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △ 4 | 7 |
| V. 現金及び現金同等物の増減額 | △ 1,425 | 315 |
| VI. 現金及び現金同等物の期首残高 | 9,767 | 8,399 |
| VII. 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額 | △ 82 | — |
| VIII. 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 8,260 | 8,714 |

通期見通し（連結・単体）

（単位：百万円）

| | 第99期実績 平成18年4月1日 ～平成19年3月31日 | 第100期見通し 平成19年4月1日 ～平成20年3月31日 |
|--------|------------------------------------|--------------------------------------|
| 連結 売上高 | 45,547 | 49,400 |
| 営業利益 | 1,886 | 3,150 |
| 経常利益 | 2,457 | 3,670 |
| 当期純利益 | 2,836 | 3,670 |
| 単体 売上高 | 22,922 | 27,840 |
| 営業利益 | 1,773 | 2,780 |
| 経常利益 | 2,072 | 3,190 |
| 当期純利益 | 1,746 | 3,210 |

連結株主資本等変動計算書（要約）

（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

（単位：百万円）

| | 株主資本 | | | | | 評価・換算 差額等 | 少数株主 持分 | 純資産合計 |
|---------------------------|--------|-------|-------|------|--------|--------------|------------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | | | |
| 前期末残高 | 18,580 | 1,104 | 5,049 | △ 82 | 24,651 | 7,282 | 8 | 31,942 |
| 当中間期変動額 | | | | | | | | |
| 剰余金の配当（注） | | | △ 415 | | △ 415 | | | △ 415 |
| 中間純利益 | | | 2,009 | | 2,009 | | | 2,009 |
| 自己株式の取得 | | | | △ 13 | △ 13 | | | △ 13 |
| 連結会社の増加に伴う減少 | | | △ 0 | | △ 0 | | | △ 0 |
| 株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額） | | | | | | △ 858 | 1 | △ 856 |
| 当中間期変動額合計 | — | — | 1,593 | △ 13 | 1,579 | △ 858 | 1 | 723 |
| 当中間期末残高 | 18,580 | 1,104 | 6,643 | △ 96 | 26,231 | 6,423 | 10 | 32,665 |

（注）平成19年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

機械・プラント事業

アフリカ地域向けにLNGタンク、LPGタンク等の超大型案件を受注

当社の最も得意とする極低温LNGタンク、低温LPGタンク各2基他を、アフリカ地域で建設される大型LNGプロジェクト向けに受注しました。タンク物件規模としては超大型案件の成約となります。タンク完成予定は平成22年8月です。(写真はマレーシアでの工事)

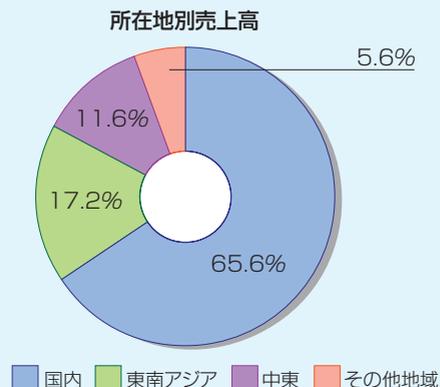
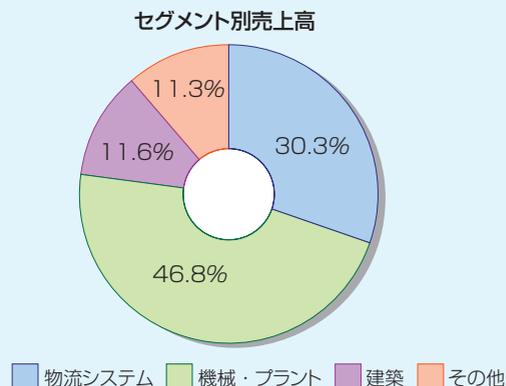


物流システム事業

新製品の納入が続く

平成19年7月に、新型ソータの第1号機の稼働が始まりました。当ソータは「シンプル・堅牢・メンテナンスフリー」というお客様のニーズを取り込んだ新製品です。また、9月には、書き換え可能な物流ラベルシステム(リライタブルラベルシステム)の第1号機が稼働しました。当システムは、通い箱に貼られたラベルの再利用を可能にした環境にやさしい新システムです。これからも時代のニーズに合致した新製品を納入してまいります。

セグメント別営業の概況



※内部売上高または振替高を消去する前の数値に基づき表示しています。
 ※その他には不動産賃貸事業が含まれております。

商号 トーヨーカネツ株式会社
 TOYO KANETSU K.K.
 設立年月日 昭和16年5月16日
 資本金 185億80百万円
 所在地 東京都江東区東砂八丁目19番20号
 事業所 本社 東京都江東区
 千葉事業所 千葉県木更津市

役員
 代表取締役社長 清田 重昭
 代表取締役副社長 水上 健
 取締役 有田 貞雄
 取締役兼上席執行役員 島崎 真次
 取締役兼上席執行役員 柳川 徹
 常勤監査役 能條 輝夫
 監査役 日野 正晴
 監査役 村重 嘉文
 監査役 遠藤 紘一

グループ会社一覧

平成19年9月30日現在

物流システム事業

- トーヨーカネツソリューションズ株式会社
- ケイ・テクノ株式会社

東京都江東区
 東京都江東区

物流システム事業／機械・プラント事業

- トーヨーカネツマレーシア社

マレーシア

機械・プラント事業

- アル・ガリーラエンジニアリングアンドコンストラクション社
- トーヨーカネツインドネシア社
- ティーケーケーユーエスエー社
- トーヨーカネツシンガポール社

オマーン
 インドネシア
 アメリカ
 シンガポール

建築事業

- トーヨーミヤマ工業株式会社
- 株式会社片山組

千葉県木更津市
 東京都新宿区

その他の事業

- 株式会社ティケイエル
- 株式会社トーヨーサービスシステム
- グローバルエイト株式会社
- トーヨーコーケン株式会社
- 株式会社マナビス

東京都江東区
 東京都江東区
 東京都江東区
 東京都江東区
 千葉県浦安市

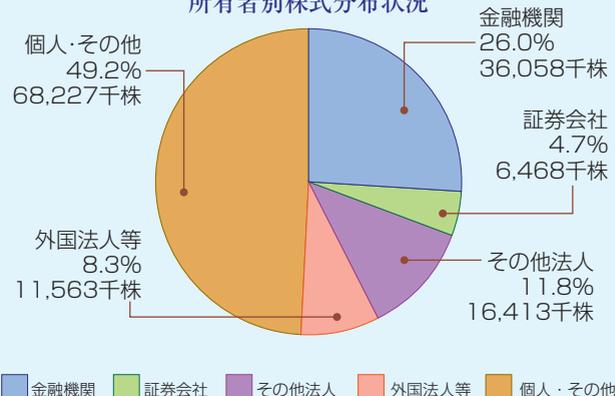
株式の状況

平成19年9月30日現在

発行可能株式総数 297,000,000 株
 発行済株式総数 138,730,741 株
 株主数 21,336 名
 大株主（上位10名）

| 株主名 | 持株数 | 議決権比率 |
|--------------------------------------|---------|-------|
| 株式会社りそな銀行 | 6,841千株 | 4.99% |
| 日本生命保険相互会社 | 4,604千株 | 3.35% |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口 | 4,389千株 | 3.20% |
| 株式会社レオパレス21 | 3,500千株 | 2.55% |
| 株式会社みずほ銀行 | 3,006千株 | 2.19% |
| ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー-505019 | 2,973千株 | 2.16% |
| 日本証券金融株式会社 | 2,387千株 | 1.74% |
| 大栄不動産株式会社 | 2,125千株 | 1.55% |
| アールピーシーテクノインバスターサービストラスト、ロンドクリアンアカウト | 2,017千株 | 1.47% |
| 資産管理サービス信託銀行株式会社信託B口 | 1,956千株 | 1.42% |

所有者別株式分布状況



株主メモ

| | |
|--------------|--|
| 事業年度 | 4月1日～翌年3月31日 |
| 定時株主総会 | 6月下旬 |
| 基準日 | 定時株主総会 3月31日 その他必要あるときは、予め公告します。 |
| 配当金受領株主確定日 | 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 |
| 公告の方法 | 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 <公告掲載の当社ホームページアドレス> http://www.toyokanetsu.co.jp/ |
| 株主名簿管理人 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱場所 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 |
| 同 取 次 所 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店 |
| 郵便物送付先・電話照会先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル) |
| お知らせ | 住所、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙および株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-244-479で24時間承っておりますので、ご利用ください。 |

ホームページのお知らせ



TOP画面



IR情報ページ

<http://www.toyokanetsu.co.jp/>
当社に関する情報がご覧になれます。

トヨカネツ 株式会社

本社 〒136-8666 東京都江東区東砂八丁目19番20号
TEL.03 (5857) 3333 (代表) FAX.03 (5857) 3170

